

音楽

小学校 第2学年

OS・ソフト等

- Windows
- SKYMENU Cloud

<単元・題材名等>

いろいろながっきの音をさがそう「がっきでおはなし」

ねらい

お気に入りの楽器とその音色に合うリズムを選ぶ活動を通して、打楽器の音やリズムのつなぎ方の特徴に気づき、自分の音楽をつくることができる。

主なICTの活用方法

- ・ 電子黒板や協働学習支援ツール（SKYMENU Cloud）の「発表ノート」機能を見て、前時学習した内容と本時の学習の内容をつなげる。
- ・ SKYMENU Cloud の発表ノートを使い、リズムを並べ替えて自分のお気に入りの音楽をつくる。

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 思いをもって実際に音を出して試す音楽づくりの活動に繰り返し取り組み、自分のお気に入りの音楽表現になるように工夫することができる。
- ・ 身近な楽器の音の高さや音の長さなど、音の特徴について理解することができる。

実践の概要

本教材「がっきでおはなし」では、好きな楽器の音色で、自分が選んだ2つのリズムを演奏し、楽器で演奏する順番を変えながら自分の音楽をつくっていく。「発表ノート」機能を用いて、ア～エの4種類のリズムを配付し、ICT 端末上で2つのリズムを選択したり、並べ替えたりしながら様々なパターンをつくれるようにする。また、並べた2つのリズムを実際に楽器で演奏し、何度も試しながら自分のお気に入りの音楽をつくるようにする。そして、仲間のつくった音楽を聴く際には仲間の ICT 端末を見ながら聴くように声をかけることで、リズムの組み合わせや、音色の違いによる面白さに気付くことができるようにする。

児童の学びの様子

- 自分の ICT 端末と同じ画面を電子黒板で見ることによって、タブレット操作が分かりやすくなり、活動の見通しをもつことができた。
- 「発表ノート」を使うことで、2つのリズムの組み合わせを容易につくることができる。順番を入れ替えたり、別のパターンをつくったりと、リズムの選択に迷うことなく、楽器を演奏しながら実際に音で確かめる活動を繰り返す姿があった。
- ICT 端末を見せ合い、つくったリズムパターンを交流する姿があった。
- 自分がつくった音楽を ICT 端末上に蓄積することで、仲間の発表を聴く際に自分の音楽と比べながら聴く姿があった。



指導のポイント

- ICT 端末上での操作について、電子黒板で全体に共有しながら説明をすることで、操作に対する抵抗を下げ、音楽づくりの活動自体を効率よく進められるようにする。
- 児童の ICT 端末に4つのリズムカードを配付することで、児童がリズム選びやリズム並べに時間を費やすことなく、本時の〔共通事項〕音色にこだわって実際に音で試すことを繰り返しながら音楽づくりが進められるようにする。